

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3142510号
(U3142510)

(45) 発行日 平成20年6月19日 (2008. 6. 19)

(24) 登録日 平成20年5月28日 (2008. 5. 28)

(51) Int.Cl.

F 1

A 2 3 G 1/00 (2006. 01)

A 2 3 G 1/30 (2006. 01)

A 2 3 G 3/34 (2006. 01)

A 2 3 G 3/48 (2006. 01)

A 2 3 G 1/00

A 2 3 G 3/00 1 0 1

A 2 3 G 3/00 1 0 6

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2007-8814 (U2007-8814)

(22) 出願日 平成19年10月18日 (2007. 10. 18)

(73) 実用新案権者 507093905
草薙 義則
神奈川県厚木市寿町2-5-3 弁天荘
1 0 1

(72) 考案者 草薙 義則
神奈川県厚木市寿町2-5-3 弁天荘 1
0 1

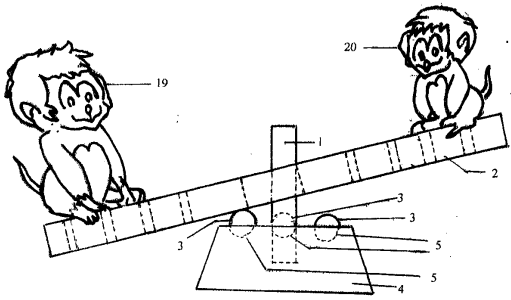
(54) 【考案の名称】 回転シーソー

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】シーソー自体をミニチア化にして、チョコレート、最中、和菓子あるいは飴で作り、幼い子供が安心して遊び楽しむことができるシーソーを提供する。

【解決手段】シーソーをミニチアサイズで、熊・ウサギ・猿とかキャラクターで作り、左右12個穴を開け平行に保ったり、上下運動させたり、回転させたりするものであり、誰にでも容易に組み立てることができ、学習能力ができ飽きたら食べることができる。

【選択図】図11



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

これはシーソー本体であるが、まだ立って歩けない幼い子供、のお菓子に関するものであり、ミニチアサイズにすれば小学生など学習能力をも可能にする、回転シーソーであり簡単に組み立て、飽きれば食べることも出来る。

【請求項 2】

図面のシーソーであるが、座席は直方体であり上の面を波型にしたら、モデルの猿の差込口が折れれば猿がずれていく。

【請求項 3】

食べれるものであれば、飴、チョコレート、最中、和菓子などで動き衛生的であれば素材は問わない。

【請求項 4】

図面のモデルは猿であるが、熊、ウサギ、ミッキーマウス、重さの調整はりんご、にんじん、トマトも可能

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は菓子で本物のシーソーのミニチアを作り、上下運動したり天秤状態にしたりまた回転する菓子に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来シーソーは、足の屈伸、重さの相違で上下運動する遊びであるがそれを回転することにより、落下する危険性をとめない。シーソーの長さ以上の場所が必要になる。その危険性をなくし、シーソー自体をミニチア化にして、チョコレート、最中、和菓子あるいは飴で作ると、幼い子供が安心して遊び楽しむことができ、学習も出来飽きれば食べる事が出来る。

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

従来シーソーは子供が乗って遊ぶが、それが回転となると勝手が異なる、危険対策も必要となり、経費もかさみ、幼い子供達は遊ぶ事が出来ないが、それを葉書たて半分ぐらいにすることにより実感もわき前述の欠点を解決しようとするものである。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

シーソーの座席は直方体ですね、その直方体の対角線の中心に、回転する軸穴を開け左右対称に小さな穴を12個ずつ開け、差し込む物体動物ならウサギ、熊、ミッキーマウスなど何でもよい、一応猿とし大きい猿と小さな猿そして好物のバナナここでは3本組と1本組のバナナ、問題は大きい猿と小さい猿プラス3本組のバナナがつりあうようにする、なおバナナ3本組はそれぞれ1本の3倍として2匹の猿をそれぞれ両端に差込小さな猿の前に3本組のバナナを差し込むと、つりあいが取れそれぞれ適正素材で作り、上下運動は無論回転も出来る、ことにより問題を解決している。

【考案の効果】**【0005】**

回転する直方体の中心の穴は、回転軸の2倍としてシーソーに乗ることは出来ないが、指で直方体の端を軽く下げると、上下運動が出来親指を支点とし一指し指で軽く弾くと回転する、落下の危険性もなく乳児も幼児も遊ぶことが出来る。

【考案の実施するための最良の形態】**【0006】**

衛生状の問題がおきるので回転シーソーの包装紙の裏側にあるいは銀紙の上に台座を置

10

20

30

40

50

き、回転軸を台座の中心に差込、4ヶ所に球体の飴もしくはチョコレート置き、その上に座席となる直方体を載せる、注意することは回転軸の直径の2倍の直径を座席の中心に開ける。いくら上下運動しても、猿・バナナの軸が折れない限り銀紙包装紙の裏には、台座しか接点がない。

【実施例】

【0007】

以下添付図面に従って一実施例を説明する。図1はシーソーの正面図でありすべてがシーソーのミニチアサイズであり、最中等適宣素材にて、図2はベアリングともいべきが座席を回転するためのベアリングを削除した、シーソーを上から見た図面である。図3は座席を上から見た図であり真ん中に大きな穴があり、両サイドにそれぞれ12個の穴があるのは、どこに何を差し込むかによって天秤となったり、上下となるので学習するための穴である。図3は座席を上から見た図面である。図4は座席の側面図である。図5は座席の右側面図である。

10

【0008】

図6は回転軸の正面図であり図7は回転軸を上から見た図面であり、図8はシーソー台座でありそのa～bの断面図は図9であり、図10はベアリングであり、図11はシーソーに大きい猿と小さい猿を乗せたシーソーの正面図である。

【0009】

10aに大きい猿を差し込むと、9a, 13a, 17aだけが空きとなり、13bに小さな猿を差し込むと、6b, 7b, 10b, 11b, 14b, 15bが空きとなりつりあうには、11bに3本組のバナナを差し込むとつりあう。

20

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】は本考案の回転シーソーの正面図であり。

【図2】はベアリングだけを削除した本考案の回転シーソーを上から見た図面である。

【図3】座席を上から見た図面である。

【図4】座席の側面図である。

【図5】座席の右側面図である。

【図6】回転軸の正面図である。

【図7】回転軸を上から見た図面である。

30

【図8】台座を上から見た図面である。

【図9】台座の断面図である。

【図10】ベアリングである。

【図11】モデルの猿の大と小を乗せた状態の回転シーソーの正面図である。

【図12】小さい猿の正面図である。

【図13】小さい猿を下から見た図面である。

【図14】小さい猿後ろ斜め上から見た図面である。

【図15】バナナ3本組みの下から見た図面である。

【図16】バナナ3本組み側面図である。

【図17】バナナ3本組みを後ろから見た図面である。

40

【図18】バナナ1本の正面図である。

【図19】バナナ1本の側面図である。

【符号の説明】

【0010】

1 回転軸

2 座席

3 ベアリング

4 台座

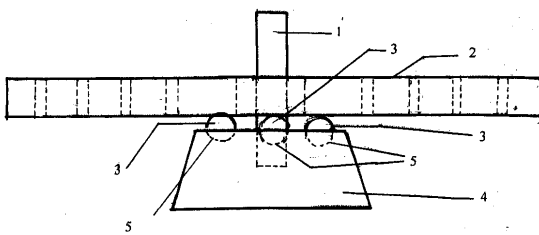
5 ベアリング受け口

6 6aから17aと6bから17b、猿とバナナ3本組みとバナナ1本の差込部分

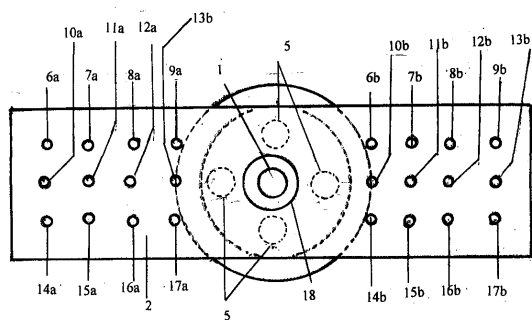
50

- 1 9 大きい猿
- 2 0 小さい猿
- 2 1 パナナ 3 本組み
- 2 2 パナナ 1 本
- 2 3 台座に差し込む円柱の差込棒

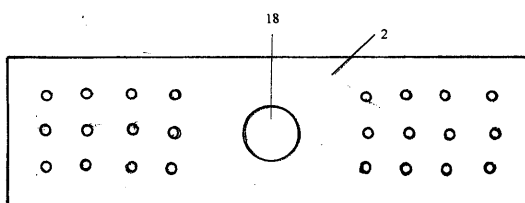
【図 1】



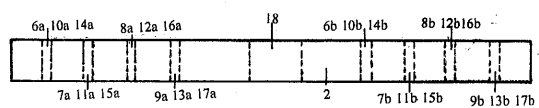
【図 2】



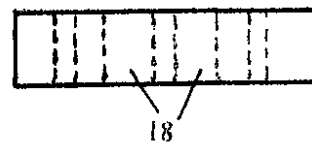
【図 3】



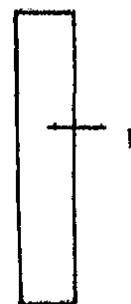
【図 4】



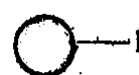
【図 5】



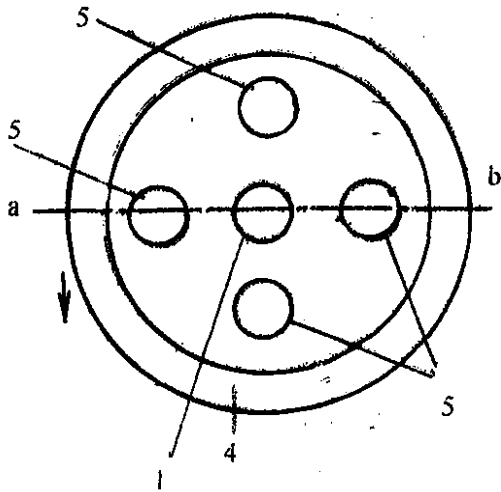
【図 6】



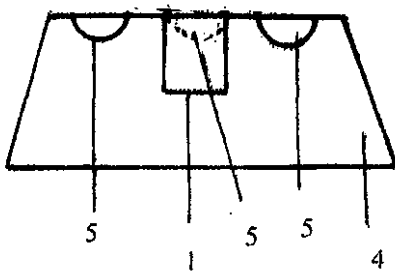
【図 7】



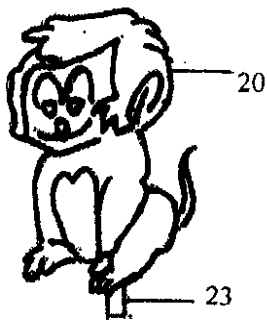
【 図 8 】



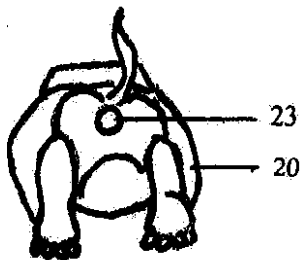
【 図 9 】



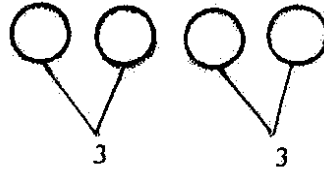
【 図 1 2 】



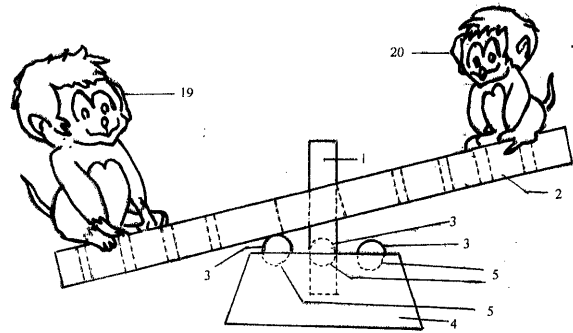
【 図 1 3 】



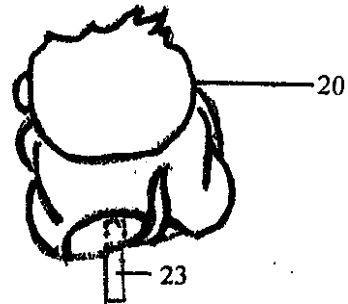
【 図 1 0 】



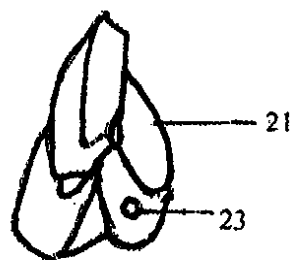
【 図 1 1 】



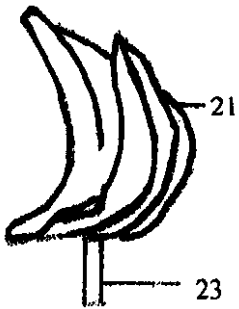
【 図 1 4 】



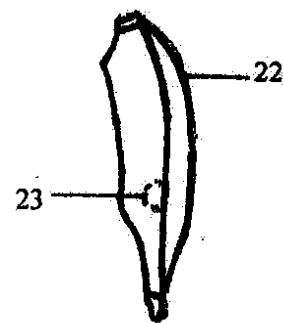
【 図 1 5 】



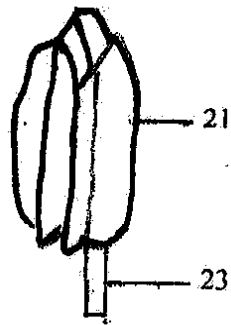
【図 16】



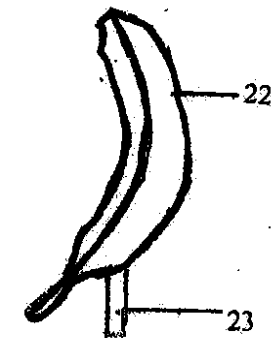
【図 18】



【図 17】



【図 19】



【手続補正書】

【提出日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

これはチョコレートで出来た、ミニチアサイズの回転シーソー。

【請求項 2】

チョコレートだけで製造すれば高く付くので、そして真夏など解けるので、座席は最中、ベアリングは飴、台座は最中、回転軸は最中、モデルは和菓子で製造すれば、季節を問わず遊ぶことが出来る回転シーソー。

【請求項 3】

座席の上にモデルを、熊・馬・人形・兎・犬・猫・を和菓子と砂糖菓子で組み合わせ、シーソーの穴に差し込んで製造し、錘は肉の塊・人参・魚・手まりなどシーソーなのである、釣り合いを取るため、遊びながら学習能力向上のための回転シーソー。

【請求項 4】

シーソーの座席は直方体であり、座席の部分に縦に等間隔あるいは異なる間隔で色をつければ、回転した時に上から見ると綺麗に見える回転シーソー。

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

チョコレートで出来た、ミニチアサイズの回転シーソー。

【請求項 2】

座席は最中、ベアリングは飴、回転軸は最中、モデルは和菓子で製造したミニチアサイズの回転シーソー。

【請求項 3】

座席の穴に差し込むモデルを熊・馬・人形・ウサギ・犬・猫またはバナナとしたことを特徴とする、吊りあいを取り遊びながら学習能力を向上できる、請求項 2 に記載されたミニチアサイズの回転シーソー。

【請求項 4】

シーソーの座席は直方体であり、座席の部分に縦に等間隔あるいは異なる間隔で、色を付け回転した時に上から見ると綺麗に見える、事の特徴とする請求項 2 又は請求項 3 に記載されたミニチアサイズの回転シーソー。